

瀬戸内町告示第31号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により、平成29年度決算および平成30年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成30年11月1日

瀬戸内町長 鎌田 愛人



平成30年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

財政動向及び財政方針	.....	1
1 平成29年度 決算のあらまし	.....	2
(1) 概要	.....	2
(2) 各会計実質収支の状況	.....	2
(3) 一般会計歳入の状況	.....	8
(4) 一般会計歳出の状況	.....	10
(5) 町債の状況	.....	12
2 平成30年度 上半期財政運営のあらまし	.....	13
(1) 予算の規模	.....	13
(2) 予算の執行状況	.....	15
3 町有財産の状況	.....	17

## I 財政動向及び財政方針

本町では、町民の皆様が町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、平成29年度決算及び平成30年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

本町の財政状況について、一般会計は、平成29年度決算において、前年度に比べきゅら島交流館建設事業等により、土木費が増加し、養豚団地解体工事の完了等により農林水産費が減少しました。また、普通建設事業費全体では6億9千5百万円の増加となっています。

特別会計は前年度に引き続き各特別会計において赤字決算はありませんでしたが、その内容は一般会計からの多額に上る赤字補てん繰出金による改善です。依然、独立採算の原則に基づく各会計の自立が課題となっています。

このような財政状況の中、本町としましては国や県の動向に注視しながら、町民の皆様が将来にわたり安心して暮らせる町づくりを目指し、産業の振興・交通手段や生活環境の整備・高齢者等の福祉医療の確保・教育文化の振興対策を鋭意進めてきました。

平成30年度上半期の財政状況については、財政基盤が脆弱な状況にある中、歳入に見合った予算規模を堅持し、投資的事業の平準化や規模適正化による総量の維持・縮減や町負担額の最小限に努め、財政需要に応えつつも財政基盤の強化を図ってきました。

今後、大規模な施設建替え事業や、老朽化対策に伴う維持補修などの計画があり、かかる費用は膨大となる見込みですが、長期的視野で計画的に資産再構築に取り組み、財政の悪化を回避するよう努力していきます。

国は、少子高齢化という「国難」とも呼ぶべき危機に直面しておりますが、本町においても「国立社会保障・人口問題研究所」の調査において2060年に3,910人、高齢人口が47.4%になると推計されており、私たちの町は、まさに「国難」の最前線に在ります。

安倍内閣総理大臣は、「働き方改革」「人づくり革命」「地方創生」を強力に推進し、あらゆる日本人にチャンスをつくることでこの「国難」を乗り越え「新しい国創り」を目指すとして力強く述べております。

この危機をチャンスに変え、未来に繋いでいくために、本町は国の政策と連動し、勇気を持って新たな取組に挑戦してまいります。また、このような状況を踏まえ、今後の財政運営は地方創生と財政健全化の両輪をバランスよく推進すべく、より一層の経費節減努力と主要事業への重点配分を行うなど、メリハリの効いた予算編成と持続可能な財政運営に努めてまいります。

# 1 平成29年度決算のあらまし

## (1) 概 要

平成29年度の各会計決算総額(水道事業を除く)は、歳入総額14,028,746千円に対し、歳出総額13,430,589千円で、差引598,157千円の黒字となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源35,802千円を差し引いた実質収支は562,355千円となっています。

## (2) 各会計実質収支の状況

### 1). 一般会計

一般会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ10,180,816千円に対し、歳入決算額で9,603,990千円、歳出決算額で9,103,658千円となり、前年度に対し歳入決算額で234,375千円、2.5%の増、歳出決算額で252,560千円、2.9%の増となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で500,332千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源35,802千円を差し引いた実質収支は464,530千円の黒字となっています。また、本年度の実質収支額から昨年度の実質収支額473,064千円を差し引いた単年度収支額は8,534千円の赤字となっています。この単年度収支額に財政調整基金の積立金236,532千円を加え、取崩額273,863千円を差し引いた、実質単年度収支額は45,865千円の赤字となっています。

(単位：千円)

一 般 会 計						
項 目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年 度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
29年度	9,603,990	9,103,658	500,332	35,802	464,530	△ 8,534
28年度	9,369,615	8,851,098	518,517	45,453	473,064	△ 31,314
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
29年度	236,532	0	273,863		△ 45,865	
28年度	292,305	161,292	0		422,283	

### 2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ305,140千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の287,581千円となり、前年度に対し歳入決算額で14,530千円、5.3%の増、歳出決算額で15,116千円、5.5%の増となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支及び実質収支ともに0円となっています。単年度収支については586千円の赤字となっています。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計						
項 目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年 度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
29年度	287,581	287,581	0		0	△ 586
28年度	273,051	272,465	586	0	586	△ 1,053
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
29年度	0	0	0		△ 586	
28年度	0	0	0		△ 1,053	

3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計(事業勘定)の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ1,780,835千円に対し、歳入決算額で1,732,004千円、歳出決算額で1,722,982千円となり、前年度に対し歳入決算額で50,706千円、2.8%の減、歳出決算額で54,513千円、3.1%の減となっています。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で9,022千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても3,807千円の黒字となっています。

次に、国民健康保険特別会計(直営診療勘定)の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ13,429千円に対し、歳入決算額で12,163千円、歳出決算額で11,877千円となり、前年度に対し歳入決算額で4,240千円、25.8%の減、歳出決算額で4,319千円、26.7%の減となっています。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で286千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても79千円の黒字となっています。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
29年度	1,732,004	1,722,982	9,022		0	9,022	3,807
28年度	1,782,710	1,777,495	5,215		0	5,215	△ 3,778
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
29年度	0	0			0	3,807	
28年度	0	0			0	△ 3,778	

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
29年度	12,163	11,877	286		0	286	79
28年度	16,403	16,196	207		0	207	△ 384
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
29年度	0	0			0	79	
28年度	0	0			0	△ 384	

#### 4). 介護保険特別会計

介護保険特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ1,488,392千円に対し、歳入決算額で1,465,545千円、歳出決算額で1,403,887千円となり、前年度に対し歳入決算額で96,951千円、6.2%の減、歳出決算額で114,819千円、7.6%の減となっています。  
 決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で61,658千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても17,868千円の黒字となっています。

(単位：千円)

介護保険特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B	C		C-D E	
29年度	1,465,545	1,403,887	61,658		0	61,658	17,868
28年度	1,562,496	1,518,706	43,790		0	43,790	4,949
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
29年度	0	0			0	17,868	
28年度	0	0			0	4,949	

#### 5). 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ111,019千円に対し、歳入決算額で109,578千円、歳出決算額で107,760千円となり、前年度に対し歳入決算額で819千円、0.8%の増、歳出決算額で483千円、0.5%の増となっています。  
 決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で1,818千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても336千円の黒字となっています。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B	C		C-D E	
29年度	109,578	107,760	1,818		0	1,818	336
28年度	108,759	107,277	1,482		0	1,482	△ 351
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
29年度	0	0			0	336	
28年度	0	0			0	△ 351	

6). 屠畜場事業特別会計

屠畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ2,035千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の1,935千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で156千円、8.8%の増となっています。主な要因は、一般管理費の増によるものです。

(単位：千円)

屠畜場事業特別会計							
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引 A-B C		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			29年度	1,935			
28年度	1,779	1,779	0	0	0	0	
財調積立金 G 繰上償還金 H 積立金取崩額 I 実質単年度収支 F+G+H-I							
29年度	0	0	0	0	0	0	
28年度	0	0	0	0	0	0	

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ376,490千円に対し、歳入決算額で385,234千円、歳出決算額で360,193千円となり、前年度に対し歳入決算額で246,176千円、39.0%の減、歳出決算額で258,212千円、41.8%の減となっています。主な要因は船舶建造費の減によるものです。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で25,041千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても22,036千円の黒字となっています。

(単位：千円)

船舶交通事業特別会計							
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引 A-B C		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			29年度	385,234			
28年度	631,410	618,405	13,005	10,000	3,005	△ 15,396	
財調積立金 G 繰上償還金 H 積立金取崩額 I 実質単年度収支 F+G+H-I							
29年度	0	0	0	0	0	22,036	
28年度	0	0	0	0	0	△ 15,396	

8). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ2,481千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の2,417千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で65千円、2.6%の減となっています。主な要因は、地方債利息の減によるものです。

(単位：千円)

古仁屋港上屋事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
29年度	2,417	2,417	0	0	0	0
28年度	2,482	2,482	0	0	0	△ 167
項目	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
	G	H	I		F+G+H-I	
29年度	0	0	0		0	
28年度	0	0	0		△ 167	

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ41,379千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の40,432千円となり、前年度に対し歳入決算額で17,798千円、78.6%の増、歳出決算額で20,585千円、103.7%の増となっています。主な要因は集落排水設備大規模改修費の増によるものです。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支及び実質収支ともに0円となっています。単年度収支については2,787千円の赤字となっています。

(単位：千円)

農業集落排水事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
29年度	40,432	40,432	0	0	0	△ 2,787
28年度	22,634	19,847	2,787	0	2,787	228
項目	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
	G	H	I		F+G+H-I	
29年度	0	0	0		△ 2,787	
28年度	0	0	0		228	



10). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ565,815千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の387,867千円となり、前年度に対し歳入決算額で129,594千円、50.2%の増、歳出決算額で132,434千円、51.8%の増となっています。主要因は、自衛隊水道施設整備事業の増によるものです。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支及び実質収支ともに0円となっています。単年度収支については2,840千円の赤字となっています。

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計							
年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B	C	D	C-D	E
29年度	387,867	387,867	0		0	0	△ 2,840
28年度	258,273	255,433	2,840			2,840	△ 197
年度	財調積立金	繰上償還金	積立金取崩額		実質単年度収支		
	G	H	I		F+G+H-I		
29年度	0	0	0		△ 2,840		
28年度	0	0	0		△ 197		

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額163,822千円に対し決算額163,764千円、支出予算額153,444千円に対し決算額135,679千円で、差し引き28,085千円の当年度純利益を生じています。なお、損益計算書での当年度純利益は18,826千円で、差額の9,259千円は消費税相当分であります。

資本的収支の決算額は、収入予算額140,001千円に対し決算額91,800千円、支出予算額182,493千円に対し決算額135,606千円で、差し引き43,806千円の収入不足となっています。この不足額につきましては、損益勘定留保資金を充当して補填しています。

(単位：千円)

年度	収益的収入	収益的支出	差 引	資本的収入	資本的支出	差 引
29年度	163,764	135,679	28,085	91,800	135,606	△ 43,806
28年度	149,168	124,568	24,600	0	38,188	△ 38,188

(3) 一般会計歳入の状況

歳入決算額は、調定額9,727,343千円に対し、収入済額は9,603,990千円で、収入率は前年度に対して0.3ポイント増の98.7%となっています。

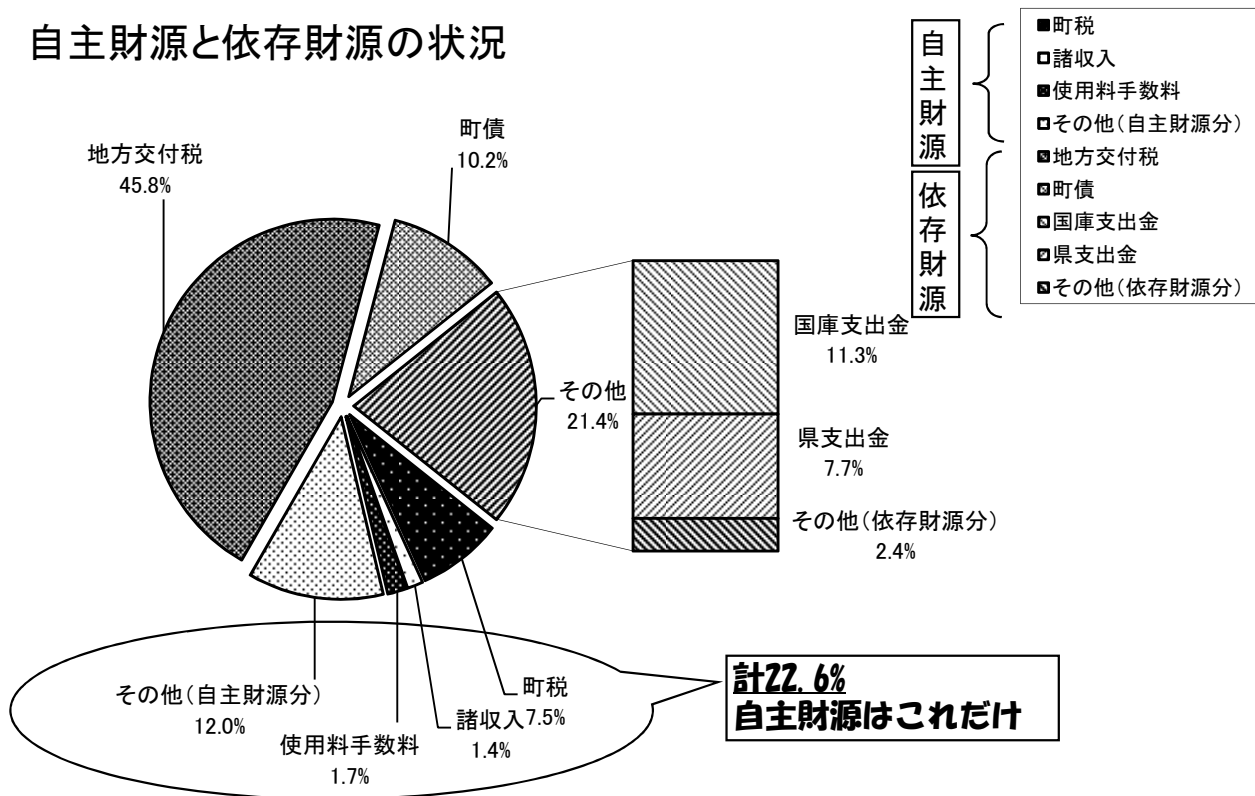
歳入決算額のうち町税や使用料・手数料、繰入・繰越金等の自主財源額は2,169,011千円で、前年度に対し500,253千円、18.7%の減、国庫支出金や地方交付税、町債等の依存財源額は7,434,979千円で、前年度に対して734,628千円、11.0%の増となっています。それぞれの割合は自主財源が22.6%で、前年度に対して5.9ポイントの減、依存財源が77.4%で、前年度に対して5.9ポイントの増となっています。

(歳入決算目的別内訳)

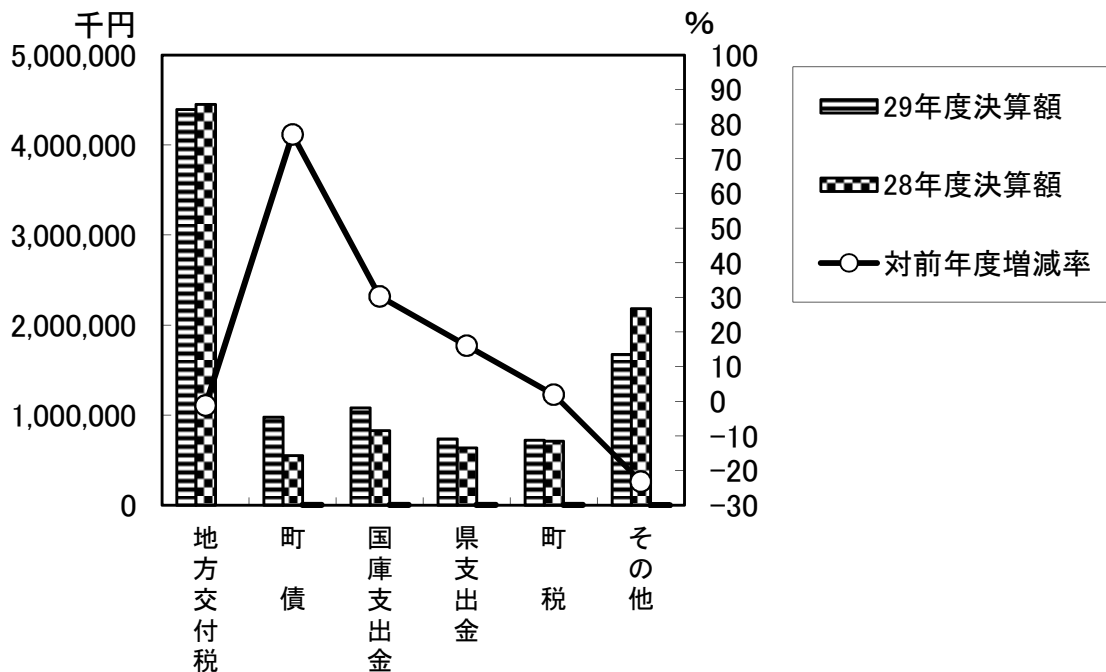
(単位:千円, %)

歳入区分	平成29年度		平成28年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	725,015	7.5	711,519	7.6	13,496	1.9
2 地 方 譲 与 税	55,057	0.6	55,315	0.6	△ 258	△ 0.5
3 利 子 割 交 付 金	1,333	0.0	537	0.0	796	148.2
4 配 当 割 交 付 金	1,612	0.0	1,338	0.0	274	20.5
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,587	0.0	764	0.0	823	107.7
6 地 方 消 費 税 交 付 金	162,668	1.7	158,705	1.7	3,963	2.5
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	9,540	0.1	6,796	0.1	2,744	40.4
8 地 方 特 例 交 付 金	966	0.0	1,180	0.0	△ 214	△ 18.1
9 地 方 交 付 税	4,398,275	45.8	4,452,783	47.5	△ 54,508	△ 1.2
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	739	0.0	1,147	0.0	△ 408	△ 35.6
11 分 担 金 及 び 負 担 金	32,700	0.3	43,486	0.5	△ 10,786	△ 24.8
12 使 用 料 及 び 手 数 料	165,037	1.7	162,338	1.7	2,699	1.7
13 国 庫 支 出 金	1,083,266	11.3	831,192	8.9	252,074	30.3
14 県 支 出 金	738,736	7.7	636,494	6.8	102,242	16.1
15 財 産 収 入	43,363	0.5	314,453	3.4	△ 271,090	△ 86.2
16 寄 付 金	92,794	1.0	99,903	1.1	△ 7,109	△ 7.1
17 繰 入 金	461,824	4.8	234,588	2.5	227,236	96.9
18 繰 越 金	518,517	5.4	773,358	8.3	△ 254,841	△ 33.0
19 諸 収 入	129,761	1.4	329,619	3.4	△ 199,858	△ 60.6
20 町 債	981,200	10.2	554,100	5.9	427,100	77.1
歳 入 合 計	9,603,990	100.0	9,369,615	100.0	234,375	2.5

# 自主財源と依存財源の状況



# 平成29年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

歳出決算額は、予算額10,180,816千円に対し、支出済額は9,103,658千円で、支出率は前年度に対して1.7ポイント減の89.4%となっています。翌年度繰越額800,117千円を差し引いた不用額は277,041千円で、前年度に対し28,063千円の減となっています。

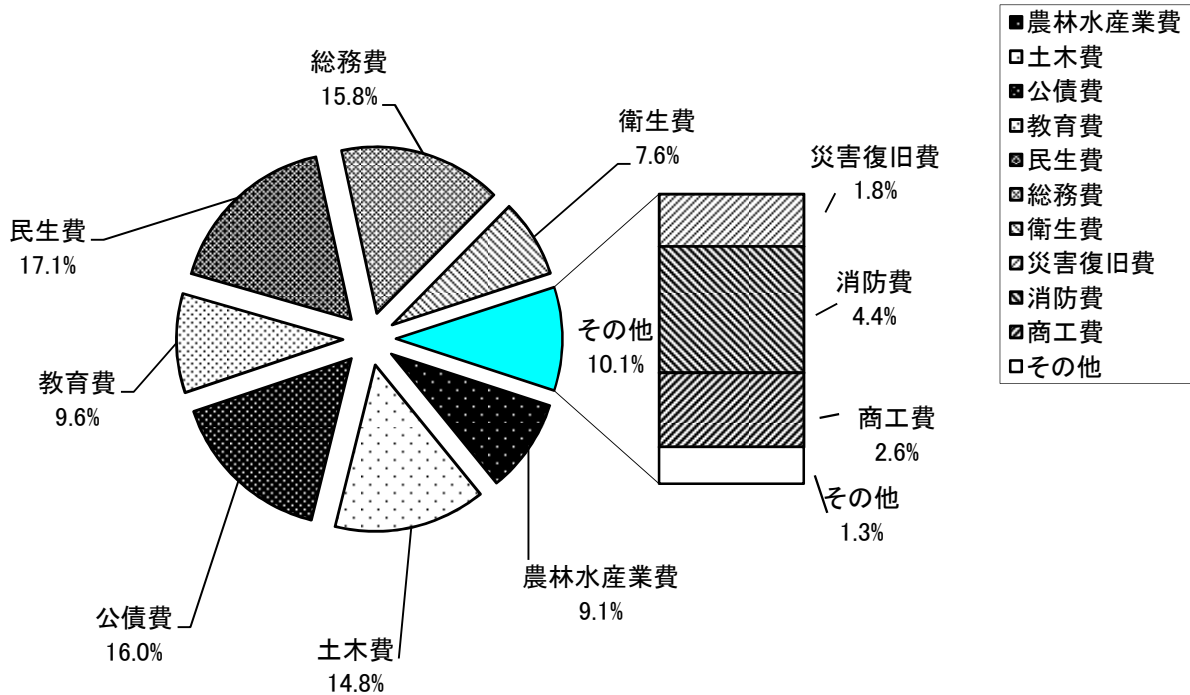
目的別の主な歳出額は、民生費1,560,786千円、公債費1,461,176千円、総務費1,438,503千円、土木費1,343,935千円、教育費875,035千円、農林水産業費828,097千円となっており、衛生費690,097千円と続いています。

(歳出決算目的別内訳)

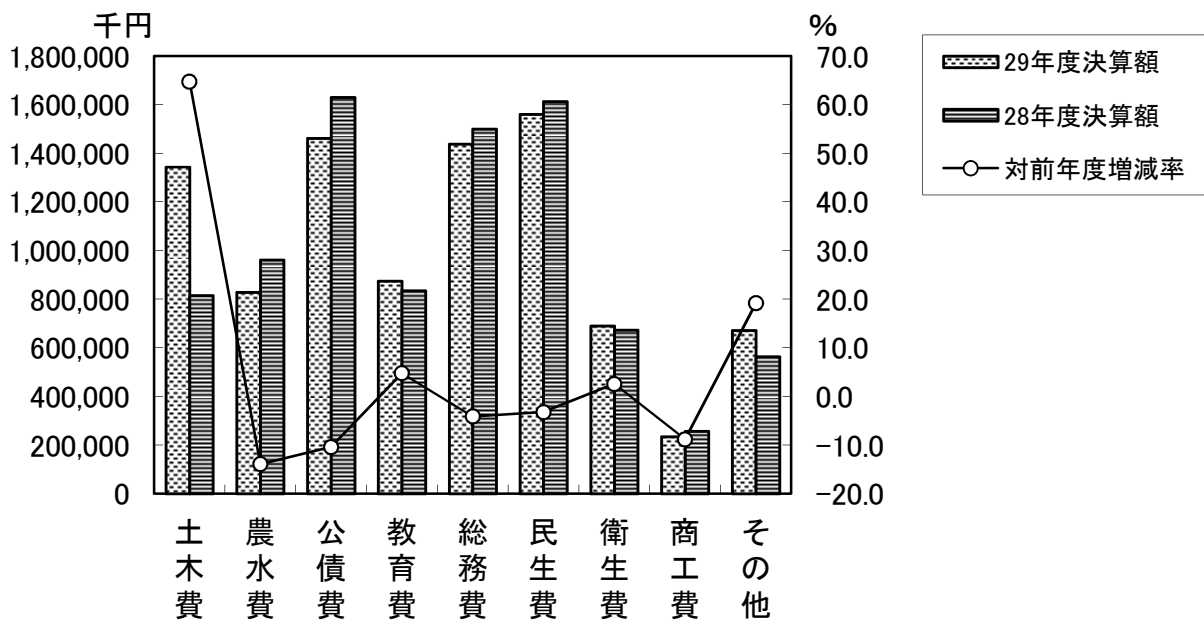
(単位:千円, %)

歳出区分	平成29年度		平成28年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議会費	87,710	1.0	90,289	1.0	△ 2,579	△ 2.9
2 総務費	1,438,503	15.8	1,500,515	17.0	△ 62,012	△ 4.1
3 民生費	1,560,786	17.1	1,613,093	18.2	△ 52,307	△ 3.2
4 衛生費	690,097	7.6	672,799	7.6	17,298	2.6
5 労働費	8,264	0.1	8,002	0.1	262	3.3
6 農林水産業費	828,097	9.1	962,054	10.9	△ 133,957	△ 13.9
7 商工費	234,731	2.6	257,399	2.9	△ 22,668	△ 8.8
8 土木費	1,343,935	14.8	815,871	9.2	528,064	64.7
9 消防費	399,169	4.4	320,224	3.6	78,945	24.7
10 教育費	875,035	9.6	835,290	9.5	39,745	4.8
11 災害復旧費	165,572	1.8	123,234	1.4	42,338	34.4
12 公債費	1,461,176	16.0	1,630,768	18.4	△ 169,592	△ 10.4
13 諸支出金	10,583	0.1	21,560	0.2	△ 10,977	△ 50.9
14 予備費						
歳出合計	9,103,658	100.0	8,851,098	100.0	252,560	2.9

## 平成29年度一般会計目的別経費の状況



## 平成29年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

収入済額は981,200千円で、前年度に対し427,100千円、77.1%の増となっています。増額の主な要因は過疎ソフト債や過疎対策事業債(コミュニティ施設整備)、辺地対策事業債(光ブロードバンド整備)等の増によるものです。

町債の借り入れ、償還、現在高の状況

(単位:千円)

会 計 別	平成28年度 末現在高 A	平成29年度 発行額 B	平成29年度償還 額 C	平成29年度末 現在高 A+B-C
(一般会計)	9,737,133	981,200	1,403,825	9,314,508
(特別会計)	1,839,806	89,200	86,079	1,842,927
巡 回 診 療	135,086	3,600	15,439	123,247
国 保 直 診	0	0	0	0
船 舶	543,058	0	13,064	529,994
上 屋	21,679	0	1,614	20,065
農業集落排水	111,588	0	8,335	103,253
簡 易 水 道	1,028,395	85,600	47,627	1,066,368
合 計	11,576,939	1,070,400	1,489,904	11,157,435

上 水 道	626,090	91,800	35,503	682,387
-------	---------	--------	--------	---------

## 2 平成30年度上半期財政運営のあらまし

平成30年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

### (1) 予算の規模(繰越明許費は除く)

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	平成30年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	8,873,098	867,497	9,740,595	66.8
(特別会計)	4,334,399	498,858	4,833,257	33.2
巡回診療	285,413	43,425	328,838	2.3
国保事業	1,456,323	45,317	1,501,640	10.3
国保直診	17,736	0	17,736	0.1
介護保険	1,408,312	62,570	1,470,882	10.1
後期高齢	108,273	0	108,273	0.7
屠畜場	2,150	0	2,150	0.0
船舶	283,995	8,175	292,170	2.0
上屋	2,323	0	2,323	0.0
農業集落排水	43,007	18,987	61,994	0.4
簡易水道	726,867	320,384	1,047,251	7.2
合計	13,207,497	1,366,355	14,573,852	100.0

上水道事業	平成30年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	156,778	0	156,778
収益的支出	156,574	0	156,574
資本的収入	2	0	2
資本的支出	45,839	0	45,839

一般会計予算款別補正状況  
(歳入)

(単位:千円, %)

会計別	平成30年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	728,093	0	728,093	7.5
地 方 譲 与 税	53,560	0	53,560	0.5
利 子 割 交 付 金	537	0	537	0.0
配 当 割 交 付 金	1,338	0	1,338	0.0
株式等譲渡所得割交付金	764	0	764	0.0
地方消費税交付金	135,912	0	135,912	1.4
自動車取得税交付金	6,796	0	6,796	0.1
地方特例交付金	966	0	966	0.0
地 方 交 付 税	4,070,826	0	4,070,826	41.8
交通安全対策特別交付金	1,500	0	1,500	0.0
分担金及び負担金	27,496	49	27,545	0.3
使用料及び手数料	166,712	0	166,712	1.7
国 庫 支 出 金	1,342,623	50,056	1,392,679	14.3
県 支 出 金	610,084	106,419	716,503	7.4
財 産 収 入	36,158	0	36,158	0.4
寄 付 金	71,301	130,000	201,301	2.1
繰 入 金	186,908	175,475	362,383	3.7
繰 越 金	1	464,528	464,529	4.8
諸 収 入	101,723	9,363	111,086	1.1
町 債	1,329,800	△ 68,393	1,261,407	12.9
合 計	8,873,098	867,497	9,740,595	100.0

(歳出)

(単位:千円, %)

会計別	平成30年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	90,325	276	90,601	0.9
総 務 費	1,093,400	540,250	1,633,650	16.8
民 生 費	1,510,533	△ 8,671	1,501,862	15.4
衛 生 費	962,486	29,397	991,883	10.2
労 働 費	8,405	△ 1,139	7,266	0.1
農 林 水 産 業 費	826,912	89,652	916,564	9.4
商 工 費	209,029	97,898	306,927	3.2
土 木 費	1,100,899	81,170	1,182,069	12.1
消 防 費	523,172	17,176	540,348	5.5
教 育 費	851,810	22,655	874,465	9.0
災 害 復 旧 費	150,610	△ 702	149,908	1.5
公 債 費	1,508,519	0	1,508,519	15.5
諸 支 出 金	16,998	△ 465	16,533	0.2
予 備 費	20,000	0	20,000	0.2
合 計	8,873,098	867,497	9,740,595	100.0



## (2) 予算の執行状況

平成30年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (平成30年9月30日現在) (単位:千円, %)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	9,740,595	4,320,499	44.4	9,740,595	3,001,316	30.8
(特別会計)	4,833,257	1,367,290	28.3	4,833,257	1,507,216	31.2
巡回診療	328,838	71,648	21.8	328,838	116,289	35.4
国保事業	1,501,640	552,135	36.8	1,501,640	482,139	32.1
国保直診	17,736	2,238	12.6	17,736	4,975	28.1
介護保険	1,470,882	595,134	40.5	1,470,882	565,511	38.4
後期高齢	108,273	25,478	23.5	108,273	23,838	22.0
屠畜場	2,150	212	9.9	2,150	1,217	56.6
船舶	292,170	90,674	31.0	292,170	160,807	55.0
上屋	2,323	603	26.0	2,323	1,347	58.0
農業集落排水	61,994	3,408	5.5	61,994	20,610	33.2
簡易水道	1,047,251	25,760	2.5	1,047,251	130,483	12.5
合計	14,573,852	5,687,789	39.0	14,573,852	4,508,532	30.9

(単位:千円, %)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
収益的収支	156,778	78,662	50.2	156,574	35,896	22.9
資本的収支	2	0	0.0	45,839	17,840	38.9

平成30年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円, %)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	728,093	410,615	56.4
地 方 譲 与 税	53,560	14,814	27.7
利 子 割 交 付 金	537	599	111.5
配 当 割 交 付 金	1,338	470	35.1
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	764	0	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	135,912	94,063	69.2
自 動 車 取 得 税 交 付 金	6,796	3,244	47.7
地 方 特 例 交 付 金	966	1,178	121.9
地 方 交 付 税	4,070,826	2,979,152	73.2
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,500	0	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	27,545	7,864	28.5
使 用 料 及 び 手 数 料	166,712	69,369	41.6
国 庫 支 出 金	1,392,679	147,475	10.6
県 支 出 金	716,503	47,645	6.6
財 産 収 入	36,158	14,822	41.0
寄 付 金	201,301	34,297	17.0
繰 入 金	362,383	0	0.0
繰 越 金	464,529	464,530	100.0
諸 収 入	111,086	30,329	27.3
町 債	1,261,407	0	0.0
歳 入 合 計	9,740,595	4,320,466	44.4

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円, %)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	90,601	47,176	52.1
総 務 費	1,633,650	408,758	25.0
民 生 費	1,501,862	585,331	39.0
衛 生 費	991,883	172,001	17.3
労 働 費	7,266	3,601	49.6
農 林 水 産 業 費	916,564	212,784	23.2
商 工 費	306,927	151,249	49.3
土 木 費	1,182,069	293,423	24.8
消 防 費	540,348	190,269	35.2
教 育 費	874,465	378,601	43.3
災 害 復 旧 費	149,908	18,881	12.6
公 債 費	1,508,519	715,707	47.4
諸 支 出 金	16,533	0	0.0
予 備 費	20,000	0	0.0
歳 出 合 計	9,740,595	3,177,781	32.6

### 3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

#### 【一般会計】

##### i) 公有財産

##### (1) 行政財産

##### ① 土地及び建物 (単位: m<sup>2</sup>)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	794.94	89.87
公共用 財産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	180,887.13	30,353.05
計		491,629.59	115,415.89

##### (2) 普通財産

##### ① 土地及び建物 (単位: m<sup>2</sup>)

建 物		
		2,422.55
土 地	宅 地	30,780.03
	田	3,480.00
	畑	17,447.19
	原 野	4,546,823.44
	山 林	6,401,961.98
	雑種地	83,237.21
	墓 地	78,817.90
	保安林	754,582.75
計		11,919,553.05

林 野	11,703,368.17
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

##### ② 有価証券 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
株 券	12,440

##### ③ 出資による権利 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	318,196

## ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	4
普 通 貨 物	5
小 型 乗 用	13
小 型 貨 物	14
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	18
特 殊 用 途 車	12
大 型 特 殊 車	14
軽 ( 四 輪 貨 物 )	30
軽 ( 四 輪 乗 用 )	18
船 舶	3
原 付	3
合 計	134

## iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 1,371,310
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 169,000
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 0
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 11,585
	債 権 19,827
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 11,433
	物 品 24,912
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 3,922
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
青 少 年 育 成 基 金	預 金 現 金 327
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 233,456
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 40,965
	債 権 2,775
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 106,731
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 10,914
特 別 水 産 業 対 策 基 金	預 金 現 金 10,000
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 8,257
	物 品 1,750
酒 造 用 含 み つ 糖 生 産 対 策 補 給 基 金	預 金 現 金 2,500
災 害 対 策 準 備 基 金	預 金 現 金 6,213
計	2,077,198

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	3隻(478.00トﾝ)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

ii) 物 品

区 分	現 在 高
巡回診療会計	車 両 4台
	レ ン ト ゲ ン 2台
計	6台

iii) 基 金 (単位:千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	222
船舶建造基金	4,780
計	5,002